



月刊えるでは市民活動（NPOやボランティア、地域活動など）で活躍中の方々を少しずつご紹介していきたいと思っています。

これらの活動で出会える・ふれあえる・学びあえる、そしてつながるを応援します。

今月のイチオシ 点訳奉仕 大牟田むつき会さん

毎年5月から7月に開講されている連続講座「点訳ボランティア養成講座」にお邪魔させて頂きました。点訳の指導をされている大牟田むつき会さんにお話を伺ってきました。

点訳奉仕大牟田むつき会の目的について

視力障がい者に寄り添い、点訳の研究と点字書籍等作成の奉仕活動を目的としています。

活動のなりたち

昭和49年に発足し、以来、視覚に障がいを持っておられる方々に点字で情報を伝えるという奉仕活動を続けています。現在活動している会員は約25人ほどになります。発足当時は、パソコンはもちろんタイプ式ブレーラーもなく、点字盤による大変な手作業で製作をしていました。

「広報おおむた」の点訳も1人で一部しか製作できなかったもので、当時の会員の方々はとても苦労されたと聞いています。

現在はパソコンや点字プリンターも4台備えて必要に応じて多数印刷することができるようになりました。

活動内容について

現在大牟田には視覚障がい1級の障害者手帳をお持ちの方が約250人、2級の方が約260人おられます。私たちは点訳を通して、広報など各種情報を提供し、また読書の好きな方には文学の世界も親しんでいただきたいと思います。全国の図書館にもさまざまな点訳本がありますので、これら全国の図書本の紹介もしています。

中途失明者への点訳指導や小学校の点字教室などの啓蒙活動、また点訳書読者との懇談会などで視覚協会の方々と交流を深めています。

7月にサンアビリティーズおおむたで開催された料理教室のレシピなども点訳して、参加者の皆さまに喜んでいただきました。

広報おおむた



養成講座について

毎年5月より点訳ボランティア養成講座を瓦町の総合福祉センター(社会福祉協議会)にて開催しております。10回程の連続講座になっており、この点訳ボランティアは視覚障がいのある方の社会参加の支援になります。

大牟田市の人口比率で考えると点訳ボランティアは5000人に1人しかもっていない特殊技能です。専門性を生かしたボランティアになりますので、講座を受けて頂いた方にはぜひこのスキルを生かしてほしいと思います。

講座が終了した後は、自分の好きな本などを点訳していただいて、むつき会のメンバーと一緒に活動を続けてもらいたいですね。

養成講座の様子



「継続は力なり」

はじめは上手に出来なくても、メンバーがサポートしますので、まずは続けて頂くことが重要かと思います。また、点訳作業だけでなく、会の仕事は表面に現れないような作業もあります。

視覚障がいという大きな困難を持っておられる方々に寄り添い、少しでもお役にたてる活動に興味をお持ちの方、まずは点訳ボランティア養成講座を受講してみませんか。

問合せ 点訳奉仕大牟田むつき会 会長：清田
TEL. FAX 0944-54-8695
定例会 第1.3金曜日（19：00～）
第2.4金曜日（13：30～）点訳は随時